

国スポの費用は削減し、 党県議団が知事に要望 県民のくらしを守る予算に



日本
共産党

滋賀県議会
議員団
議会報告

2019年
11月定例会議
11/28～12/20

2020年1月20日
第17号

<http://jcp-shigakengidan.jimdo.com/>
TEL 077-528-4030
FAX 077-522-7740



ふしきみちよ

大津市末広町 4-4
TEL・FAX 077-523-0334
mail:mfushiki@beach.ocn.ne.jp
<http://green.ap.teacup.com/fushiki/>



杉本 としたか

長浜市湖北町今西 575
TEL 0749-79-0217
FAX 0749-79-8005
mail:binryumaru@eto.eonet.ne.jp
<http://sugimoto-toshitaka.com/>



きのせ明子

大津市昭和町 4-8
TEL 077-522-8210
FAX 077-522-8282
mail: kinoko0325@outlook.jp



松本 としひろ

東近江市外町 40 番地
TEL 0748-22-5793
FAX 0748-22-5793
mail: tm1951@e-omi.ne.jp

日本共産党滋賀県議会議員団は、三日月大造滋賀県知事に、2019年11月20日、2020年度予算編成に対して134項目の重点政策要望をおこないました。

「住民福祉向上」という 自治体の役割を發揮せよ

10月1日、安倍政権は、くらしと経済を壊す消費税10%増税を強行しました。地域経済を担っている中小企業をさらに疲弊させ、

格差と貧困に追い打ちをかけています。

▲新年度予算要望する県議団

こんな時こそ、「住民福祉の向上」という地方自治体の役割を發揮しなければなりません。安定した雇用と賃上げで暮らしを応援し、中小企業を支援し、地域経済を活性化すること、高齢者・障害者福祉の充実、子育てや若者支援で県民の暮らしをささえる仕事を果たさなければなりません。

4名の県議団、 切実な声を届けて

知事への要望のなかで、節木三千代県議は、高すぎる国保料の引き下げへ、国費1兆円投入を求めるとともに、県として独

自に一般会計から繰り入れて国保料を引き下げるよう求めました。杉本敏隆県議は、「住民こそ主人公」を県政に柱に据えていただきたい」と強く要望。松本利寛県議は、全国でおこった水害からダムに頼る行政の問題点を指摘し、「流域治水を言い出した滋賀県の名に恥じないような治水政策を進める必要がある」と述べ、黄野瀬明子県議は、子ども食堂の関係者や中小業者などの切実な声を紹介し「補助金を復活してほしい」と要請しました。

524億円もの国スポ費用を 削減し、暮らし・福祉・教育こそ

滋賀県は、2024年に開催する国民スポーツ大会に524億円もの税金をつぎ込むとしていますが、さらに膨れ上がる見込みです。213億円もの彦根主会場などの大型施設整備を削減し、暮らし・福祉・教育優先へ予算を重点配分することをよく求めるものです。

中学卒業までの医療費無料化、南部地域に養護学校を新設することや、障害者のグループホーム整備、精神障害者の医療費助成の拡充、返済しなくてもいい給付型奨学金制度の創設など、税金の使い方をかえればすぐにでも実現できます。



県民の声を県政へ、論戦をリード、県議会でも野党共闘が前進

日本共産党4名の県議団は、毎議会、県民のみなさんの切実な願いを届けてきました。ふしき県議は、障害者が県外で158人も暮らさなければならない状況を明らかにし、グループホーム整備の遅れを知事に認めさせました。杉本県議は、アユやシジミの漁獲量が激減するなかで、資源回復へ積極的な提案をしてきました。安倍政権による農産物の輸入自由化を容認する県政をきびしく批判してきました。松本県議は、地域住民にとってなくてはならない近江鉄道の存続をと県民の声を届けてきました。国保料引き下げのため1兆円の公費投入を求めています。黄野瀬県議は、毎朝事故の心配をしながら、子どもを見送る保護者の声を議会で取り上げ、危険な通学路に信号機を設置させることができました。マンモス化する草津養護学校の状況を取り上げ、養護学校の新設を求めています。

党県議団は議案提案権を生かして、議会毎に意見書を提案。共産党提案の意見書のほとんどに「チームしが」が賛成するなど、県民の願いにこたえて野党共闘が県議

会でもすすんでいます。消費税10%中止を求める意見書では、「チームしが」と共同で提案することができました。

精神障害者の医療費助成の拡充を

滋賀県の福祉医療費助成制度では、知的・身体障害者は、通院・入院とも対象ですが、精神障害者は、精神科の通院のみで、入院や他科受診には助成制度はなく、障害者の種別で格差が生まれています。日本共産党は、精神障害者も他の障害者同様に他科受診や入院に対して助成するよう求めています。知事は医療費助成に差異があることを認め、「現状を把握のうえ今後どのような制度をつくっていけばいいのか検討していきたい」という認識を示しました。

滋賀県の障害者医療費助成の状況

	精神障害者	知的障害者	身体障害者
通院	×	○	○
入院	×	○	○
精神科の通院のみ	○		

※○ 医療費助成あり